蒲郡若者議会　観光委員会 政策立案シート

久米 淳平　川合 俊平　杉浦 遥　竹内 敦司　竹内瑠奈

メンター・協力

竹尾 友宏、千賀 健太、鈴木 将浩、加藤 克典、山下 真弘、鈴木 盛益
小田 章人、藤田 啓介、伊藤 次郎、杉浦 太律、鈴木 友理、浅沼 陸

蒲郡の現状　※数値など客観的データ

観光客数の減少(10年間で20%以上減少)

新型コロナウイルスによる観光への影響

1

蒲郡の魅力　※テーマに関連した魅力を列挙

風光明媚

東海地方では有数の観光都市

かつては観光客で賑わった。

2

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	Strength（活かせる強み） 交通の便が良い。 海に面している。 市のバックアップ 蒲郡祭り、映画の誘致	Weakness（克服すべき弱み） 冬場の観光地がない 外国人観光客に依存？ バスが少ない。 若者向け施設が少ない。 シャッター街が多い。 市民は望んでいる？
外部環境	Opportunity（市場での機会） 周りの都市とのアクセス 他市を参考にできる。 動画でのPRできる土壌。 インスタ映えなどが流行。	Threat（回避すべき脅威） 観光地の認知度上昇が足りない。 新型コロナウイルス 23号バイパスの整備 近隣の強豪観光地

3

理想の未来像

※蒲郡がどんな未来になっていると良い？

地域と調和した観光地

住む人も来る人も幸せ。

4

解決すべき課題

※蒲郡市のどんな課題を解決させようとしているか？

現状、蒲郡市で行われている観光政策には様々なものがあるが、市民は本当に観光交流立市蒲郡を望んでいるのか？
まずは市民が蒲郡を知り、魅力を発信できる環境を作る。

蒲郡をどう変えたい？

観光客が来やすく、
魅力を知ってもらえる。
市民も自慢できる街。

市民をどう変えたい？

蒲郡市の魅力について理解し、
観光地として発信できる。

5

強み・弱み

※メンバーの強み・弱み

やるときはしっかりやる。

チーム内、メンターの方々との

仲が良い。

雰囲気がとても良い。

忙しい人も多い。

6

ターゲット

※政策の対象者を具体的に

市内全世代

7

政策のタイトル

希望の蒲郡に塗り替えろ ～がまCreateAR～

8

政策の蒲郡に対する目的

蒲郡市の代表的な観光地である竹島周辺(東港地区)の再開発に対し、市民からの意見を聞くことが地域と調和した観光地に必要だと考え、市民の意見を反映したまちづくりを行う。

11

政策の参加者に対する目的

市民からのアイディアの収集
東港開発計画の周知

12

実施の効果目標 ※参加者数、現状→目標の数値変化、アンケート調査など

・実際に現地を歩くことで現状把握
・多様なイベントと一緒に開催することで集客を有用性の証明
・人々が関わることで、自分達で作った達成感や愛着が出る

13

政策の概要

がまCreateARアプリの開発

（経緯）
・市が進めているから
・竹島周辺が蒲郡の観光の中心
・現状、東港が有効活用ができていない

•スマートフォンやタブレット端末を使用し、訪れた方にARで理想の東港区を作ってもらう。こうすることで、現実味が出る。
•スマートフォンやタブレット端末にアプリをインストールすることで使用可能。実際の東港地区にARで欲しい施設を置いていく仕組み。
•東港地区で様々なイベントを行うことで、足を運ぶきっかけを作る。
•定期的に開催することで、様々な人の声を集めることが出来るとともに、東港開発の認知度の向上。
•市民の望む東港の形がわかりやすく、取り入れやすい。東港地区の発展へ繋げることができる。
•イベントで行うだけでなく、実際に訪れなくても図書館や博物館等の公共施設に端末を設置することで多くの市民に対して東港を周知しやすくする。

地域と調和した観光地に！

１０月の事業実施

事業タイトル：創ろう理想の蒲郡 ～がまCreate～

事業の目的

観光委員会政策として、提案するイメージとの擦り合せ
市民からのアイディアの収集
東港開発計画の周知

11

事業の効果･実績

・東港開発計画について市民に知られていないという結果が得られた
・市民へ東港開発計画の周知を行うことができた

市民の望むもの

10-20代	ショッピングモールなどの娯楽目的の施設
20-40代	カフェやBBQ場の家族で団らんできるような場
50-70代	自然に触れて散歩や運動ができ、日常生活の質を上げてくれるような場所
80代	客を呼び込めるような場所

12

実施内容（目的達成のための手段）

竹島周辺のジオラマを設置し、視覚や触覚を使いゲーム感覚で、参加者の理想の蒲郡を作ってもらう

アンケート（現在の竹島周辺の満足度・東港開発計画の認知度調査）

体験してくれた方には蒲郡のお土産お菓子セットをプレゼント

東港開発計画を知ってもらうきっかけ作り

政策広報計画 ※政策の宣伝方法を記載する

市のHP、広報誌など
SNSの活用
市内観光施設と協力し、宣伝

14

政策予算計画 ※主要な費用項目を記載する

アプリ開発外注 300万円程度
ARシステム開発 50万円程度
イベント開催費用 100万円程度
(人件費、機材費等)
広告・宣伝費 150万円程度(Web広告、デザイン費、協力費等)

15